

事業原簿（ファクトシート）

作成日：平成 25 年 4 月 1 日作成
更新時期：平成 27 年 3 月 現在

制度・施策名称	—			
事業名称	情報収集事業	PJコード：P09018		
推進部	技術戦略研究センター			
事業概要	<p>独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下「NEDO」という。）は、エネルギー・地球環境問題の解決及び産業技術の国際競争力の強化というミッションを持ち、研究開発プロジェクトをマネジメントすることで、プロジェクト成果を最大化する役割を担っている。</p> <p>本事業では、プロジェクトの企画立案や適切な運営に関する調査、NEDOのマネジメント能力の向上に資する調査等を行うことで、プロジェクト成果の最大化に資することを目的としている。</p>			
事業の位置づけ・必要性について	<p>NEDOは業務の遂行に当たり、研究開発の戦略的重点化、効率的・効果的推進を通じ、社会の課題を解決していくことがますます強く求められてきている。研究開発プロジェクトの企画立案やマネジメントをより効果的に行うために、海外の政策・技術開発の動向、プロジェクト成果等の情報を収集し、日々のマネジメントに活用していくことは重要であり、本事業は必要である。</p>			
事業の目標	<p>本事業では、プロジェクトの企画立案や適切な運営に関する調査、NEDOのマネジメント能力の向上に資する調査等を行うことで、プロジェクト成果の最大化に資することを目的とし、次の効果を得るものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①次年度予算要求に利用されること ②海外事務所による調査活動や国際実施案件が促進されること ③NEDOのマネジメント能力が向上されること ④白書・ロードマップの作成を通じてNEDOの活動が広く示されること ⑤実施中の事業の更なる推進に資すること 			
事業規模	事業期間：平成 21 年度～			
	契約等種別：委託			
	勘定区分：一般勘定・需給勘定			[単位：百万円]
		H21～H24 年度 (実績)	H25 年度 (実績)	H26 年度 (予定)
予算額	1 6 5 0	4 4 8	4 3 0	2 5 2 9
執行額	1 6 5 0	4 4 8	—	2 0 9 9

情勢変化への対応	平成 21 年度・社会的なニーズの高まり等を受け、NEDO プロジェクトから生まれた製品（NEDO インサイド）に関する情報収集を開始。
評価に関する事項	<p>評価時期及び方法（外部評価又は内部評価、レビュー方法、評価類型）</p> <p>・毎年度評価：平成 26 年度～、内部評価</p>
事業成果について	<p>平成 25 年度は以下の分野において 36 件の調査（平成 25-26 年度の複数年度実施分 1 件を含む）を実施し、国内外の動向（技術動向、市場動向、政策動向等）の把握、プロジェクトの企画立案にあたっての課題（技術、法制度、産業構造等）の抽出等を行った。</p> <p>①次年度予算要求に向けた新規プロジェクトの企画立案に関する調査（6 件）</p> <p>②分野横断的であり、複数プロジェクトの運営及び案件形成に広く帰属し活用される調査（海外事務所による調査活動、国際実施案件を含む）（15 件）</p> <p>③NEDO のマネジメント能力の向上に資する調査（11 件）</p> <p>④白書・ロードマップ案件（3 件）</p> <p>⑤事業実施中案件（1 件）</p> <p>これらによって、平成 26 年度以降の新規プロジェクトの企画・立案に必要な情報収集を実施し、新エネルギー技術分野、省エネルギー技術分野、電子・材料・ナノテク技術分野等におけるプロジェクトにおいて、実施内容や目標の妥当性の確認を行った。また、世界各地における様々な政策や技術の動向を把握し、研究開発マネジメントの基礎とした。さらに、NEDO インサイドについて、新規 30 件に関する予備調査を行うとともに、昨年度までに整理した 70 件の更新を行った。</p>

平成25年度 事業評価書

平成27年3月31日作成

制度・施策名称	—	
事業名称	情報収集事業	情報収集事業
推進部	技術戦略研究センター	
総合評価	<p>NEDOが研究開発プロジェクトの企画立案やマネジメントをより効果的に行うために、海外の政策・技術開発の動向、プロジェクト成果等の情報を収集し、日々のマネジメントに活用していくことは非常に重要である。</p> <p>平成25年度は、適切な事業計画・実施体制の下で、36件の調査を実施し、新規プロジェクトの実施内容や目標の妥当性の確認、世界各地における様々な政策や技術の動向の把握、NEDOインサイドの深化等を行った。</p> <p>本調査は、世界各地の政策や経済状況等に応じて日々刻々と変化している技術開発や、技術そのものの動向を踏まえたプロジェクトの企画立案やマネジメント等に活用され、様々な成果が得られている。</p>	
評価詳細	<p>1. 必要性（社会・経済的意義、目的の妥当性）</p> <p>NEDOは業務の遂行に当たり、研究開発の戦略的重点化、効率的・効果的推進を通じ、社会の課題を解決していくことがますます強く求められてきている。研究開発プロジェクトの企画立案やマネジメントをより効果的に行うために、海外の政策・技術開発の動向、プロジェクト成果等の情報を収集し、日々のマネジメントに活用していくことは非常に重要である。</p> <p>平成25年度は客観的な情報を収集し、新規プロジェクトの実施内容や目標の妥当性の確認を行い、世界各地における様々な政策や技術の動向を把握し、NEDOプロジェクトから生まれた製品（NEDOインサイド）への理解を深めた。</p> <p>また、本調査で得られた知見は、NEDOが実施する各分野のプロジェクトの企画立案や、実施中のプロジェクトマネジメント、変化に応じたプロジェクト出口の検討等に活用されている。</p> <p>このように本調査の結果は、日々変化している世界各地の政策や技術動向を踏まえたプロジェクトの企画立案及びマネジメント等に活用しているものであり、十分な必要性があると評価できる。</p>	
	<p>2. 効率性（事業計画、実施体制、費用対効果）</p> <p>本事業は、特定分野の技術や国際等、極めて幅広い領域を対象としていることから、案件ごとに最適な実施者に委託している。また、契約額を原則として1件あたり2000万円以内、委託期間を原則として単年度とすることで、各案件に対す</p>	

るきめ細かな事業計画を策定し、最適な実施体制を構築できている。

3. 有効性（目標達成度、社会・経済への貢献度）

本事業は、NEDOが戦略的に研究開発マネジメントを行い、プロジェクト成果を最大化するために必要な情報を収集するものであり、その成果は基礎情報としてマネジメント全般に活かされている他、新規プロジェクトの立ち上げ等を行う際にも活用され、その目標を達成している。

平成25年度は、36件（新規プロジェクトの企画立案に関する調査（6件）、分野横断的調査（海外事務所による調査活動、国際実施案件を含む）（15件）、NEDOのマネジメント能力の向上に資する調査（11件）等）を実施し、新規プロジェクトの実施内容や目標の妥当性の確認、世界各地における様々な政策や技術の動向の把握、NEDOインサイドの深化等に必要な情報収集を行い、その結果が新規プロジェクトの立ち上げ等に活用され、本事業の目的を果たしている。

4. その他の観点

特になし